

# の 広報 のぼりバツ

10/1  
1996  
No.552



9月7日(土)・8日(日)、「大地の祭典」が、札内町のソーシャルグリーンを会場に行われました。

秋の味覚を求めて家族連れなどが次々に訪れ、地元特産の和牛などのバーベキューに舌づつみを打っていました。

8日には、大地の祭典のメイン行事である、「クロスカントリーレース」が行われ、男女合わせて約600人の選手が参加、秋風の中、さわやかな汗を流していました。

## 主な内容

- ・市長所信表明
- ・中学生海外派遣帰国報告
- ・10月はリサイクル月間
- ・登別市職員給与の状況
- ・きらり 道マスターズ選手権(陸上)優勝 奥山正行さん

# 市長所信表明(要旨)

平成8年第3回登別市議会が9月9日に招集され、上野市長は3期目の就任にあたり、所信を表明しました。

所信表明は、市長が3期目の市政に望む所信と基本的な考え方を示したものです。

その要旨をお知らせします。



▲3期目にあたり所信を表明する上野市長

## はじめに

私は、この度の選挙におきまして、市民のみならず多数の温かいご支援をいただき、三たび市政の重責を担うこととなりました。微力ではありますが、市民のみならずの負託にお応えするため、全力を尽くして市政の推進に努めます。

## 市政運営の

## 基本的な考え方

第一は、開かれた市政の推進です。情報公開制度の確立や広聴広報活動の充実など、なお一層市民の声が生かされる開かれた市政の推進に努めます。

第二は、総合計画の着実な推進です。

向こう10年の施策の基本方向を示した基本計画と現在取りまどめ中の3カ年の実施計画の概要版を作成し、市民のみならずにお知らせするとともに、民間における人材や優れた技術、資金、資源等をまちづくりに生かし、市民と行政とのパートナーシップのもと、民間も含めた推進体制づくりに取り

組みます。

第三は、市民に最も近い立場で適切な行政サービスを展開する市政の推進です。

昨年12月に行政改革実施計画を策定し、これに基づき鋭意取り組んでいますが、行政改革は、単に行政コストの削減や行政組織のス

リム化のみを追求するものではなく、市民ニーズの変化に見合った新たな行政サービスの構築や市民の立場にたった適切な行政サービスを展開するため、組織機構や行政コストの肥大化を招くことなく柔軟な運営体制づくりをすすめます。

## 重点施策

### 災害に強いまちづくり

災害発生時において、被害の状況や市民が置かれている状況をリアルタイムで把握し、状況に応じ

て適切に対応ができるよう、防災活動の拠点となる防災センターの建設に取り組めます。

### 快適な生活環境の整備

下水道は、事業の促進に努め、普及率の向上を図り、供用開始区域における水洗化率の向上に努めます。

新しい総合計画で示した都市像「ふれあい交流都市」への接近を図るために、他圏域との交通アクセスを強化し、流通拠点の都市としての特性をさらに伸ばすことも

に、新たな産業機能の集積や都市機能の充実を図るため、広域幹線道路網や市内幹線道路網の整備を促進します。  
廃棄物の処理のため、高カロリーごみや下水道汚泥等を混焼できる一般廃棄物中間処理施設を建設するとともに、再利用のために簡易な修理を行い、あるいは、再資源

化を図るため資源ごみの分別整理を行うリサイクルセンターを整備します。



▲下水道終末処理場・若山浄化センター

ほこりや悪臭、汚水等を出さない環境保全に配慮した一般廃棄物最終処分場を新設します。

既設の火葬場は、老朽化がすすんでいきますので、無煙・無臭など無公害、やすらぎや快適性に優れた近代的な施設への更新を図ります。

緑化計画を策定し、行政と市民の役割分担を定めてその実践を図るとともに、自然を学び、自然に触れ、親しみ、楽しみを味わうことができるよう、宿泊研修機能を備えたネイチャーセンターの建設に取り組みます。

## 若者が定住できる活力ある地域社会の形成

基幹産業の観光と市内の他産業との結びつきを強め、食材の提供をはじめとする様々な観光関連事業の芽が育つ環境づくりに努めます。

福祉ニーズに対応して成長が期待される民間福祉サービスの育成に努めます。

日常の生活と密着した技術と製品製造力をもった企業の情報を発信し、地場の産業間に蓄積された技術やノウハウ、製品開発力等の有機的な連携を図るなどして新たな技術の創造やビジネスチャンスの展開を期します。

幌別地区の商店街近代化事業とその基盤となる街路整備事業を促進し、事業効果の早期発現を図るとともに、他地域の新たな取り組み



▲完成した道管桜木団地（第1期工事）

登別温泉地区は、温泉バイパスの本工事を契機として、温泉街の新たな公共的施設の整備と関連する商店街の近代化を支援します。

みを指導します。

## 共に支えあうふるさとを築いていきます



▲事業開始した総合在宅ケアセンター事務局

事業開始した総合在宅ケアセンターにおける総合調整機能の強化を図るとともに、登別、鶯別地区におけるデイサービス事業の取り組みをすすめます。

在宅のお年寄りのための給食サービス事業の展開を図ります。

高齢者のための特別養護老人ホームの拡充を図ります。

新たに障害者福祉計画を策定し、住みやすい住宅への改善や公共施設におけるバリアフリー化などを進めます。

障害者の自立を促進するためグループホーム、援護寮等自立支援施設の整備について、近隣市町村との連携を図りながら広域的な見地で取り組みます。

子育て支援については、エンゼルプランを策定するとともに、設立したファミリーサポートセンター事業の円滑な運営を図ります。多様化する保育ニーズに対応で

きるよう、保育所の機能の強化に努めます。

市内の未設置診療科目の解消を図るため、眼科に引き続き耳鼻科等の設置が図られるよう努めます。国立登別病院については、難病等の特定疾患を対象とした長期専門治療を行う広域医療機関として整備されるよう引き続き要請します。

北大登別分院の診療閉鎖に伴う

## 教育・文化・スポーツの振興

各学校が創意に満ちた教育活動を展開できるよう余裕教室の改造、多目的な学習スペースの確保など施設・設備の充実に努めます。

親子の共同体験・交流活動を行う機会と場の充実に努めるとともに自然に親しむ施設の整備を図ります。



▲改造工事が終了した西陵中学校屋内運動場

登別地区の診療体制の確保については、跡地利用に併せて検討します。



▲子育て支援を行うファミリーサポートセンター事務局

生涯学習活動を支援するため、「いつでも」「どこでも」学習活動ができるよう環境の整備に努めます。

高度情報化時代にふさわしい図書館の整備について検討を進めます。

新たに千歳グリーンパークの整備を進めます。

## 結び

20世紀最後の4年間を迎えるにあたり、愛するふるさと登別が21世紀に向けて、力強く飛躍できるよう全力を尽くします。

市制30周年を迎える西暦2000年には、新たな世紀に向けたまちづくりの決意を表すため、市民総参加のイベントについてみなさんとともに考えたいと思います。

# 中学生海外派遣帰国報告

中学生海外派遣団の一行は、8月16日から10日間の日程を無事に終え、元気な笑顔で帰国しました。

初めて訪れたデンマークで、貴重な体験をしてきたみなさんの感想を報告します。



▲リング市役所前にて

## 「デンマークへ行って」

幌別中学校 阿部 直生

僕がデンマークへ行って一番うれしかったことは、ホストファミリーの人たちがやさしくしてくれたことです。一回も会ったことがない人にこんなにもやさしくしてくれるのだからかと思ひ、日本にはこういうことが少なくなっているのを見習うべきだと思いました。

二番目にうれしかったことはデンマークの食生活に慣れることができたことです（黒いグミのようなものは除いて）。しかし、僕がおいしいと思っているものが他の人のおいしいくないと言ひ、僕は困りました。

僕はデンマークでの経験をいろんなことに生かしていきたいと思っています。

僕はいつの日かまたデンマークに行きたいと思ひます。



▲ニスク城のモデルとなったイーエスコー城

## 「すばらしい10日間」

幌別中学校 石垣 沙織

多くのことを学んでこれたデンマークでの生活。とても充実していて、毎日が楽しみであふれていました。

デンマークの人は私たちに笑顔で親切に接してくれ、訪問した学校の生徒でも「Hi!」

と言うと、返事を返してくれました。特にホストファミリーには、とても良くしてもらいました。それだけに別れる日はつらかったです。



▲初めてバギーに乗りました（コスト校にて）

それから、童話の中にあるような、のどかな自然が豊富に見られました。食事は、どこのホテルよりもどこのレストランよりも、ホストファミリーのお母さんが作ってくれた食事が一番おいしかったです。

この海外研修ではデンマークの友だちはもちろん、普段交流の少ない他校の友達もできました。この機会の経験をこれからも生活に生かしていきたいと思ひます。

## 「デンマークでの体験」

緑陽中学校 佐々木 健

デンマークへ行って日本との違いがかなり見られました。違いには、食習慣や家の形などたくさんありますが、やはり一番の違いは言葉だと思ひます。デンマークでは、見る物すべてが初めてで、行く所行く所で感動しっぱなしでした。また、デンマークの人たちの態度に驚きました。どんな時でも、僕たちを優先してくれました。

4日間のホームステイでは、1日目は緊張しすぎて覚えてきた英語を忘れてしまい、何を言われてもわからずに、早く帰りたいばかり思っていました。2日目、3日目ともなるとだんだんリラックスしていき、だいたいはわかるようになっていきました。

デンマークでは楽しい思いばかりなので、また行きたいです。また、今回の体験を、これからの生活に生かしたいと思ひます。



▲アンデルセン博物館

## 「永遠の4日間」

西陵中学校 渋谷 雅美



▲「人魚姫」の像

私は、この海外研修で言葉では言い尽くすことのできない思い出と、素晴らしい友人たちを作ってきました。その中で、最も印象深く残っている思い出の一つに、ホストファミリーと一緒に過ごした4日間があります。朝7時に起床し、朝食を食べ、学校へ行くといった普段と何も変わらない毎日と、ホストファミリーの人たちが、私を家族の一員としてあつかってくれたことをとてもうれしく感じました。4日間は、まるで夢のように過ぎ去りましたが、私は、この4日間で家族の温みとやさしさを改めて感じました。最後の夜は、「せっかくな言葉も理解できるように頑張って来ましたの……」という気持ちで胸がふまりました。この海外研修で学んだ事を、これからの学校生活に生かしていきたいと思えます。ありがとうございます。

## 「デンマークの思い出」

緑陽中学校 樋口 諭子

私は、この研修で多くの事を体験しました。それは、言葉や生活習慣が全く異なっている中、一緒にバスケットをしたり、勉強したりできたことです。

初めてホストファミリーと会った時は、緊張のあまり、会話がなかなかつながりませんでした。でも、慣れてくるにつれて、楽しく、「ずっとこのままがいい」と思いました。

別れはともつらかったけれど、何年か後にまたデンマークで会えるかもしれません。

研修の中で、いろんな体験をしたことや、デンマークのみんなと交流したことは、私の心に素晴らしい思い出として一生残るでしょう。今、はるか遠いデンマークに、

私の友達がいることがとてもうれしいです。もつとこれから英語を学び、デンマークの友達と手紙などで交流を深めていきたいです。



▲まるで本物！ブロックで作られたレゴランド

学校訪問では、主にフリー校という学校に行きました。生徒も先生もみんな親切で友達もたくさんできました。クラスもみんな仲が良く、日本で問題になっている「いじめ」なんて言葉は絶対に存在しない、そんな感じがしました。学校外でも、どこへ行っても親切で、とても感謝しています。デンマークでは、毎日がとても充実し、楽しかったです。またいつか絶対、デンマークに行つてみたいですね。

## 「楽しく充実していた10日間」

鷺別中学校 吉川 香苗

私は、この海外研修で、本当に多くの事を経験し、たくさん思い出をつくることができました。一番印象に残ったのは、やはり4泊5日のホームステイのことです。初めは不安で頭がいっぱいでしたが、ホストファミリーの優しさで明るさで、すぐに消えてしまいました。



▲とても楽しかったホストファミリーと

初めて海外交流、初めてのホームステイなど本当に初めてだらけだったデンマークでの研修。思い出となってしまったこととはとても残念ですが、改めて思い出すと、とても多くのことがありました。緊張してガチガチだったホームステイも、ホストファミリーの人たちのやさしさで吹き飛んでしまいました。

イーエスコア城や、レゴランド、アンデルセン博物館も見学し、その素晴らしさに深く感動しました。町並みもとてもきれいで、ゴミもあまり落ちていなくて、日本も真似しなければならぬことがたくさんありました。

この研修で、デンマークと日本の違いや、良いところ、そして何より人とふれあうことの大切さ、素晴らしさを学ぶことができました。これからはこの研修で学んだことを十分に生かせるよう、努力していきたいと思えます。

## 「楽しかった」

登別中学校 米澤 一真



▲仲良くなったホストファミリーの子どもたち

デンマークからの研修生として登別を訪れていシアカ・ラーソンさんとルイス・シュミットさんは、3カ月間の研修日程を無事に終え、10月2日に登別をたつことになりました。

シアカ・ラーソンさん(写真左)  
「温泉は素晴らしいですね。デンマークにはないので、持って帰りたいくらいです。」

登別ではいい人ばかりでとても良くしてもらい、心から感謝しています。この3カ月間のことはすっかり忘れずに、これからの人生に生かしていきたいと思えます。

ルイス・シュミットさん(写真右)  
「この3カ月間は、すべてが初めてで興味深いことばかりでした。靴を脱いで家に入ることなどは、慣れてくるにつれて、このほうがいいなと思えました。」

みなさんに本当に親切にしてください。感謝の気持ちでいっぱいです。素晴らしい時間をありがとうございました。



# 身近なところから始めよう！リサイクル

リサイクルに関する問い合わせ 環境衛生課 ( ☎ 0529558 )

豊かになった生活、その裏側では大量の資源とエネルギーが消費されごみとして吐き出されています。地球の資源は無限ではありません。

私たちにとってかけがえのない地球の資源を守るために、ごみを正しく分別し、リサイクルに心がけるなど暮らしを見つめ直し、身近なことから始めてみませんか。

## 登別方式

## 資源リサイクルシステム

### 《第1種回収資源》

新聞紙・雑誌・段ボール・生きピン・衣類・牛乳パックなど

### 集団回収に参加しましょう

集団回収は、リサイクルを目的に町内会、子ども会、婦人部、老人クラブなどさまざまな団体が取り組んでいる運動なので、みなさん一人ひとりの協力がなければ成り立ちません。進んで協力しましょう。

### 《第2種回収資源》

金属類・あき缶・雑ビン

あき缶(アルミ・スチール)、雑ビン(ワンウェイびん)のリサイクルをしましょう。

あき缶の原料である鉄(スチール)とアルミニウムは日本ではほとんどとれない資源です。貴重な資源をむだにしないようにリサイクルをしましょう。

雑ビンは何度でも同じ製品にリサイクルできるのでむだにしないようにしましょう。

あき缶・雑ビンは、町内会に設置しているリサイクルドラムに出しましょう。

### ●ピンポスト・リサイクルドラム設置公共施設

- 登別市婦人センター
- 登別公民館
- 登別小学校
- 労働福祉センター
- 鉄南ふれあいセンター
- 登別市役所
- 登別市民会館
- しんた21
- 登別市総合体育館
- 亀田記念公園
- 若草つどいセンター
- 鷺別公民館
- 登別市清掃工場

町内会名	平瀬町	リサイクルドラム設置	町内会名	平瀬町	リサイクルドラム設置
登別温泉第11町内会	○	○	新川町内会	○	○
登別東町一町会	○	○	新川第二町内会	○	○
登別東町二町会	○	○	香風町内会	○	○
登別東町三町会	○	○	来福町内会	○	○
登別東町四町会	○	○	さくら団地自治会	○	○
登別東町五町会	○	○	桜木団地町内会	○	○
登別本町二町会	○	○	西川上町内会	○	○
登別本町一町会	○	○	青葉町南高町内会	○	○
幌別第2町内会	○	○	若草町内会	○	○
幌別第3町内会	○	○	緑町団地町内会	○	○
幌別第4町内会	○	○	若山団地町内会	○	○
幌別第5町内会	○	○	富浜町内会	○	○
幌別第6町内会	○	○	沙平町内会	○	○
幌別第7町内会	○	○	大和町内会	○	○
幌別第8町内会	○	○	若葉町内会	○	○
中札内町内会	○	○	新生町2丁目町内会	○	○
富浦町内会	○	○	新生町3丁目町内会	○	○
すずらん団地町内会	○	○	千代の台町内会	○	○
常盤町内会	○	○	新生町1丁目町内会	○	○
緑ヶ丘町内会	○	○	鷺別1丁目町内会	○	○
中央栄町内会	○	○	鷺別2丁目町内会	○	○
中央町駅前町内会	○	○	鷺別3丁目町内会	○	○
中央町三丁目町内会	○	○	鷺別4丁目町内会	○	○
ニナルカ町内会	○	○	鷺別5丁目町内会	○	○
中央町内会	○	○	はまなす町内会	○	○
中央新生町内会	○	○	ひまわり町内会	○	○
中央町十字街町内会	○	○	ありあけ町内会	○	○
千歳町内会	○	○	美園町内会	○	○
南千歳町内会	○	○	美不二町内会	○	○
新栄町内会	○	○	桜ヶ丘町内会	○	○
柏木団地町内会	○	○	若草町内会	○	○
曙町内会	○	○	若草第二町内会	○	○
新和会	○	○	若草緑ヶ丘町内会	○	○
山手町内会	○	○	旭ヶ丘町内会	○	○
片倉町内会	○	○			
西団地町内会	○	○			

※第1種回収資源は、町内会のほか、幼稚園、小学校、中学校などでも集団回収を実施しています。  
第2種回収資源のリサイクルドラムを設置していない町内会のみならず、公共施設のピンポスト及びリサイクルドラムに出しましょう。

いっしょにわが家かな？

ここにあげたマークは、リサイクルに関する深いマークです。何のマークかわかりますか。



## 牛乳パックのリサイクルを進めましょう

牛乳パックは、最高級のパルプでできているので再利用すると比較的質の高い再生紙を作ることができます。捨てないで集団回収や、近くの店舗の回収ボックスに出しましょう。

### 牛乳パックの回収ボックス設置店舗

- ダイエー幌別店 (○)  
 ホームストア幌別店  
 プラザファイブ (アーニス店)  
 プラザファイブ (桜木店)  
 生協 新生ストア  
 生協 旭ヶ丘ストア  
 登別サティ (○)  
 イーストショップ (しが)  
 しが若草店

○の店舗はトレイも回収しています。

### ※牛乳パックの出し方

- ①中身を飲み終えたらまず、水で洗い、切り開きます
- ②開いた紙パックは乾燥し、ひもなどでしばって回収ボックスに出しましょう

### 廃油でせっけんを作ってみませんか

古い天ぷら油を使って、せっけん作りをしてみませんか。

- ▶日時 10月23日(水) 9時30分～12時
- ▶場所 市民会館調理室
- ▶受講料 500円(材料費)
- ▶定員 20名(申込順)
- ▶持参するもの ポリバケツ(6ℓ以上のもの)
- ▶申し込み・問い合わせ 食文化サークル「かまど」首藤さん (☎8215)



ご存じですか?リサイクルの言葉  
**「リターナブルビン」と「ワンウェイビン」**  
 ガラスびんにはリターナブルビン(生きビン)とワンウェイビン(雑ビン)があり、それぞれリサイクル方法が違います。ガラスびんのリサイクルは、まずその2つに分けることから始めます。

### ●リターナブルビン(生きビン)

リターナブルビンは、洗浄してそのまま繰り返し使用できるビンのことです。代表なのがビールびんや一升びん、牛乳びんなどで、生きビンともいいます。ビールの大びんは、だいたい12回使用できるといわれています。リターナブルびんも再使用できないような傷などがつくと、ワンウェイビンと同じように原料としてリサイクルされます。



### ●ワンウェイビン(雑ビン)

ワンウェイビンは、1回だけの使用のためにつくられているので、リターナブルビン以外のびんのことです。使用後は砕いてカレット(ガラスくず)としてガラスびん原料へとリサイクルされます。

### のぼりべつリサイクルハウスを活用ください

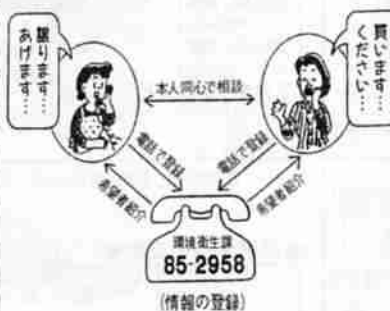
家庭や事業所で不用となった再利用できる家具や机などを持ち込んでいただき、ある程度集まりましたら公開します。

引き取りは無料で希望者が多数の場合は抽選します。(12月に予定している公開日は広報紙などでおしらせします。)

▼持ち込み時間 月曜日から金曜日まで(祝日は除く)  
 9時～16時

### 知ってて便利 不用品ダイヤル市

不用品ダイヤル市は、家庭や事業所で不用となったものや欲しいものを電話で登録していただきます。登録期間は6カ月間で更新もできます。値段や運搬は本人同士で相談していただき、登録品は、提供する方が保管します。(毎月15日号の広報をご覧ください)



▲清掃工場横リサイクルハウス

- 1 古紙を利用した製品に付いているマーク
  - 2 アルミ缶の識別マーク
  - 3 ペットボトル識別マーク
  - 4 再製品など、環境を考えた商品に付いているマーク
  - 5 スチール缶の識別マーク
  - 6 ニカド電池識別マーク
  - 7 再生ペット樹脂推奨マーク
  - 8 牛乳パック再生利用マーク
- 全部わかった人はリサイクルの達人です。



# 登別市職員給与などの状況

▶問い合わせ 職員課(☎651132)

登別市職員の給与と職員数の現状を、市民のみなさんにご理解いただくため、国家公務員の給与との比較をしながらその内容をお知らせします。

市職員の給与は、その職務と責任に応じ支給される給料と、扶養・通勤手当などの諸手当から構成され、「登別市職員の給与に関する条例」に基づいて支給されます。また、給与は、毎年度国の人事院が国家公務員の給与を民間の給与水準と均衡させることを目的に行う勧告に準じて改定が行われます。

なお、給与水準の較差を確認する方法として用いられるラスパイルズ指数は、国家公務員を100とした場合、市職員は平成7年4月1日現在で99.8となっています。

## ◆決算額に占める人件費の状況 (平成7年度普通会計決算見込額)

住民基本台帳人口 (+H.3.31現在)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) H6年度の 人件費率
56,857人	19,556,929千円	4,822,542千円	24.7%	23.8%

\*人件費は、特別職の給与を含みます。(人件費=給料+諸手当+退職手当+共済費)

## ◆職員給与費の状況 (平成8年度普通会計予算)

職員数 A	給 与 費				1人当たり 給与費 (B/A)
	給 料	職員手当	期末・勤続手当	計 B	
531人	2,115,166千円	503,663千円	1,046,666千円	3,665,495千円	6,903千円

\*給与費は、特別職の給与と退職手当は含みません。(給与費=給料+諸手当)

## ◆一般行政職の初任給と経験年数別平均給料月額 (平成8年4月1日現在)

区分	初 任 給		経 験 年 数 別 平 均 給 料 月 額		
	登別市	国	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
大学卒	169,000円	169,000円	281,000円	336,100円	380,500円
高校卒	137,900円	137,900円	239,200円	274,200円	335,200円

## ◆平均給料月額と平均年齢 (平成8年4月1日現在)

区 分	一般行政職(事務・土木技師など)	技能労務職(運転手・清掃職員など)
平均給料月額	343,500円	326,500円
平均給与月額	405,200円	367,300円
平均年齢	42歳8月	47歳9月

## ◆一般行政職の級別職員数の状況 (平成8年4月1日現在)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	計
標準的な 職務内容	係員の 職務	係員の 職務	係員の 職務	主任の 職務	主任・主任 の職務	主任・主任 の職務	課長の 職務	次長・次長 の職務	部長・部長 の職務	
職員数	14人	12人	30人	45人	71人	105人	17人	43人	7人	344人
構成比	4.1%	3.5%	8.7%	13.1%	20.6%	30.5%	5.0%	12.5%	2.0%	100%

## ◆期末・勤続手当の支給割合 (平成8年4月1日現在)

区 分	登 別 市				国				備 考
	6月期	12月期	3月期	計	6月期	12月期	3月期	計	
6月期	期末 1.6月分	勤続 0.6月分	期末 1.6月分	勤続 0.6月分	期末 1.6月分	勤続 0.6月分	期末 1.6月分	勤続 0.6月分	算指置ありによる加算
12月期	期末 1.9月分	勤続 0.6月分	期末 1.9月分	勤続 0.6月分	期末 1.9月分	勤続 0.6月分	期末 1.9月分	勤続 0.6月分	
3月期	期末 0.5月分	勤続 1月分	期末 0.5月分	勤続 1月分	期末 0.5月分	勤続 1月分	期末 0.5月分	勤続 1月分	
計	5.2月分				5.2月分				

\*期末・勤続手当は、民間企業でいうボーナスにあたります。

## ◆部門別職員数の状況 (各年4月1日現在)

区 分	職 員 数			対 前 年 増 減 数		
	平成6年	平成7年	平成8年	平成6年	平成7年	平成8年
一 般 行 政 部 門	議 会	6	6	6		
	総務企画	107	108	106	1	△2
	税 務	27	27	27	1	
	民 生	91	92	94		2
	衛 生	60	59	57	6	△2
	労 働	4	5	3	2	△2
	農林水産	10	11	11	△1	1
	商 工	18	15	16	△1	△3
	土 木	55	57	55	2	△2
	小 計	378	380	375	10	△5
特 別 行 政 部 門	教 育	71	71	66	△2	△5
	消 防	87	89	90	4	1
	小 計	158	160	156	2	△4
普通会計合計	536	540	531	12	△9	
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	20	21	20		△1
	下 水 道	18	19	21	△1	2
	そ の 他	11	11	12	1	1
	小 計	49	51	53	0	2
総 合 計	585	591	584	12	△7	

## ◆退職手当の支給率 (平成8年4月1日現在)

区 分	登 別 市		国	
	自己都合退職	勤続・定年退職	自己都合退職	勤続・定年退職
勤続20年	21,000月分	28,875月分	21,000月分	28,875月分
勤続25年	33,750月分	44,550月分	33,750月分	44,550月分
勤続30年	47,500月分	62,700月分	47,500月分	62,700月分
最高限度額	60,000月分	62,700月分	60,000月分	62,700月分

\*退職手当=退職時の給料月額×支給率

## ◆特別職の給料などの状況 (平成8年4月1日現在)

区 分	月 額	道内都市平均月額	期 末 手 当
給 料	市 長	870,000円	916,800円
	助 役	700,000円	737,500円
	収入役	630,000円	639,600円
報 酬	議 長	400,000円	439,000円
	副議長	350,000円	388,600円
	議 員	320,000円	357,300円
	計		5.2月分 (一般職と同様に加算指置があります。)

\*道内都市平均月額は、札幌市を除く31市を対象としています。



# きらり

## 第11回北海道マスターズ

### 選手権(陸上)優勝

おくやま まさゆき  
**奥山 正行さん(若草町・67才)**



から、無理をしないで、マイペースでやっていますよ」

「陸上を始めたいきっかけは

「会社の運動会でいい成績を取めたのがきっかけで、昭和25年から陸上を始めました。昭和32年から選手としてよりも公認審判員として陸上にかかわってきました。平成元年に、「第2回全国スポーツ・レクリエーション祭り・マスターズ陸上」出場のチャンスがあり、走ってみて、意外といい記録が出たんです。会社を定年退職し、時間に余裕ができたこともあり、それから毎年、北海道マスターズ選手権に参加しています」

「陸上の楽しさは、  
 「私の場合、陸上をとおして、いろいろな人と交流できることが楽しいですね。勝敗は別として仲間と会いに行くという感じで大会に参加しています」

「趣味は、陸上以外にないから、

「趣味は、陸上以外にないから、

元気なうちは幾つになっても陸上を続けていきたいですね。それから、登別でもマスターズの仲間がふえて、みんなで練習ができればいいなと思っています。登別でマスターズの大会を開いたら最高ですね」とにこやかに話してくれました。

これからも健康に留意され、無理をせず陸上を楽しんでください。



▲メダルを前に優勝を喜ぶ奥山さん

美園町の

高野真一さん

は、個人

ボランティア

アとして、

車いすで生活

する人の外出ボ

ランティア活動を

しています。

## いきいき ボランティア

みんなで一緒に街に出よう！  
 車いすでも安心して外出できる街を目指して

つい先日終了した「市民ボランティア講座」では、車いすで生活する女性を受講することを知り、2カ月間にわたり自宅から会場までの送り迎えを手伝いました。

高野さんが外出ボランティア活動を始めたのは、「登別市福祉の街づくり広場」の会員活動のなかで、駅・銀行・郵便局・デパートなどが車いすでも利用しやすいかを実際に車いすに乗って体験したことがきっかけになったそうです。

この体験で、歩道の傾斜や建物の入口などは段差が多く、とても自力では外出できないことを知りましたが、段差で立ち往生しているときに「お手伝いしましょうか」と声をかけてくれる人もいて、周囲の人



ボランティアセンターでは、お年寄りや障害を持った方のための外出や移送(運転)をしてくれる男性ボランティアを募集しています。

また、ボランティアを受けたい方の相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター  
 (☎0860)

うになるんだな、と実感したそうです。

高野さんは、「車いすで生活している人たちは、もっと自由にもっと気軽に街に出たいと思っています。車いすの介助はコツをつかめばあまり力はいらないけど、やっぱり男性のほうが頼りにされているようです。これからは、気は優しく力持ちの男性ボランティアがたくさん増えてほしいですね」と話してくれました。

高野さんは、「車いすで生活している人たちは、もっと自由にもっと気軽に街に出たいと思っ

ています。車いすの介助はコツをつかめばあまり力はいらない

けど、やっぱり男性のほうが頼りにされているようです。これ

からは、気は優しく力持ちの

男性ボランティアがたくさん

増えてほしいですね」と話して

くれました。

ボランティアセンターでは、

お年寄りや障害を持った方のた

めの外出や移送(運転)をして

くれる男性ボランティア

を募集しています。

また、ボランティアを

受けたい方の相談にも応

じています。お気軽にこ

相談ください。

▼問い合わせ 登別市社

会福祉協議会ボランテ

ィアセンター

(☎0860)

# みんなでつくろう福祉の輪 ふれあい広場 '96のぼりべつ

9月1日(日)、しんた21を会場に「ふれあい広場'96のぼりべつ」(登別市社会福祉協議会主催)が行われました。当日はあいにくの雨模様で、屋外でのイベントは中止になりましたが、会場では介護用品の展示や障害者の方々の手作り品のバザー、ボランティア体験などが行われ、約1千人の市民でにぎわいました。

ボランティア団体による手話教室や点字教室、風つくり体験などは子どもたちに好評で、集まった市民は障害や年齢に関係なく、楽しい1日を過ごしました。



## 水の事故から身を守ろう！ 鷺別小学校で着衣水泳の練習

9月12日(木)と13日(金)に鷺別小学校の児童が、服を着たまま泳ぐ「着衣水泳」を同校プールで体験しました。

この着衣水泳は、突然の水の事故を少しでも防ごうと昨年度から行われているもので、1年生から6年生の全児童が体験しました。

「歩きにくい」「泳ぎにくい」「体が重たいよう」「自由に動けない」などの声プールのあちこちから聞こえてきました。子どもたちの顔は意外と明るく、ふだん体験できない水とのふれあいを楽しんでいるようでした。



## 登別市功労者表彰

市は、永年にわたり市政の発展や社会福祉に貢献した次の方々の功績をたたえ、市功労者として表彰しました。



故 有坂 了孝 さん(64歳)

平成8年7月6日にご逝去された有坂了孝さんは、永年にわたり登別保護区の保護司として社会福祉の向上に寄与されました。



故 中澤 文治 さん(78歳)

平成8年8月3日にご逝去された中澤文治さんは、永年にわたり登別市(町)議会議員として地方自治の振興に尽力され市政の発展に寄与されました。



故 星 喬 さん(75歳)

平成8年8月14日にご逝去された星喬さんは、永年にわたり登別市固定資産評価審査委員会委員として地方自治の振興に尽力され市政の発展に寄与されました。

# 東 奔



▲かわいらしいミニわらじ作りを体験しました

## まなんで広がるいぶりの輪

### 第1回胆振生涯学習フェスティバル

「まなび」のすばらしさや楽しさを多くの方々に知ってもらおうと、9月22日(日)、市民会館を会場に、第1回胆振生涯学習フェスティバル「まなびビアいぶりのほりべつ'96」が行われました。

会場では、郷土芸能発表や胆振管内の各市町村のサークルや団体活動の展示、学び体験などたくさんプログラムが用意され、特に、学び体験コーナーでは、たくさんの方が陶芸やミニわらじ作りなどにチャレンジしました。



▲多くの方の目をひいた踊りパレード

## 海の幸にまつり 登別漁港まつり

9月14日(土)・15日(日)の両日、第19回登別漁港まつりが開かれ、多くの市民でにぎわいました。

集まった市民のお目当ては、何と言ってもとれたばかりの秋サケなど新鮮な海の幸の即売で、市価より安いいため飛ぶような売れ行きでした。

また、〇×クイズ大会や踊りパレード、花火大会などのイベントも行われ、まつりを盛りあげました。

飲食コーナーでは、焼きイカなどが販売され、訪れた家族連れなどが秋の味覚を楽しんでいました。

## めぐりの会

## 仲間たち

自分たちのできることからボランティアを



会長 小沢裕美子さん

☎66084

めぐりの会は、登別市婦人短期大学の専科を卒業した方々が、自分たちの習ってきたことを何かの形で社会に還元したいと、昭和63年6月結成され、来年で10周年を迎えます。

現在、会員は40〜60歳代の女性14名で、養護老人ホーム恵寿園での清掃奉仕活動や、幼稚園などでの家庭教育学級のときの託児をボランティアで行っています。

恵寿園へは一カ月おきに訪問していますが、お年寄りがとても楽しみにしていて、女園で待っている方もいるそうです。毎年、恵寿園まつりのときにはお手伝いとして参加し、お年寄りとの

交流も深めています。

会の名前は、たまごを産み、温め、いつくしみ育てる「めぐり」のように、みんながやさしい気持ちで活動していこう、と付けられました。

会長の小沢さんは「もう10年になるなんて、とても早い気がしますね。みんなが支えあっているので続いているんだと思います。小さなグループなので、限られたことしかできませんが、自分たちのできることを細く長く続けていきたいです」と、笑顔で話してくれました。

めぐりの会では、会員を募集しています。詳しくは小沢さんまでご連絡ください。

# 郷土史 点描

〔77〕

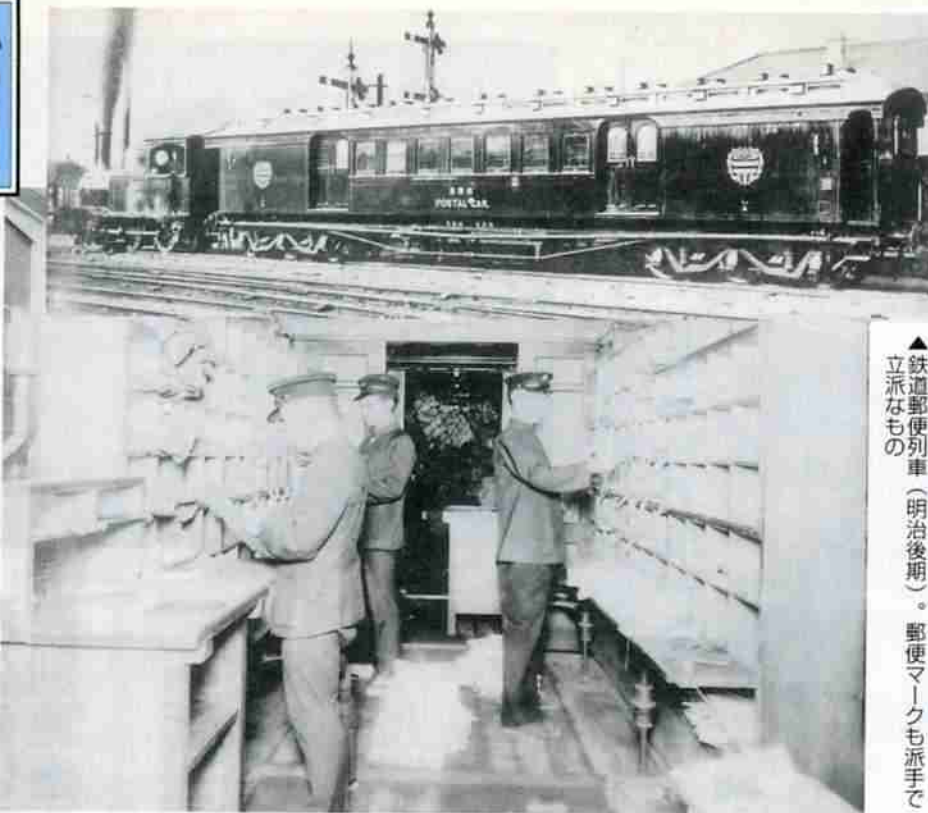
## 「郵便前夜」(4)

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

### 「電信」の普及

### キリシタンの魔法

▲鉄道郵便列車(明治後期)。郵便マークも派手で立派なもの



▲鉄道郵便列車内での郵便区分作業(昭和初期)

今から約95年前、明治34年(1904年)の幌別郡の戸数は709戸、白老郡のアヨロ(虎杖浜)に及ぶ広い範囲の幌別郵便取扱所の郵便物の1年間の引受は約5万2千通、配達は約7万7千200通、小包の引受274個、配達は898個であった。因みに、平成7年度、登別郵便局の通常郵便物の引受は約256万通、配達は58万通、小包引受は約3万個、配達は5.5万個で、富岸・鶯別地区も含むが、他に登別駅前郵便局・登別温泉郵便局も独自に集配業務をしているので、登別市内では相当な数量になることを登別郵便局より説明を受けました。

昔の数量と比較できない事情はあるが、それでも、他の府県から農業目的で移住する者も増え、明治28年にはオカシベツ殖民地(千歳・幸・新栄町)や来馬付近(常盤・柏木町地区)の土地が解放されたので「移住希望者が急増し郵便業務も増えた」と記録している。

郵便物の移送業務も迅速になってくるのは、鉄道の開設と蒸気船の発達にも関わりがあるようだ。明治25年、北海道炭鉱鉄道の開設計で、幌別と登別に2停車場が設けられ、幌別停車場で郵便物の郵便物の発送は1日6回で、片道3回だが郵便物はある程度の数量をためてから発送したらしい。

それでも、東京と青森間740kmの東北線が全通したのは明治24年、青函航路113kmを渡航して函館に到着。函館から森まで運送脚夫の足、森から室蘭までは小型の船便で、室蘭・幌別間は脚夫の運搬、北海道炭鉱鉄道が開通したといっても、各家に配達されたのは、東京から15日~20日以上の日数。それでも当時は随分と早く便りが届くようになったものである。

さて、郵便制度が整ってきたが北海道は、依然として中央政府からは遠隔の地にある。この本州と北海道の間をぐんと縮めたのが電信(電気通信)の普及であろう。

電信は、電流を断続したり変調変化させて文字化したもので、1837年アメリカ人モールスによる符号が電信の始まりである。

日本には、1854年黒船でペリーが来航した時に、遙かに遠く離れている人に話を通じたことのでびつくり仰天し「キリシタンの魔法だろう」と言ったものの、こんな便利なものはない。明治になり、東京と横浜間に初めて電線が架設された。

北海道でも、明治5年札幌本道開削の時に、函館・森・札文華山道を超えて室蘭・登別・千歳・札幌に至るまで電信柱が立てられ電線も順次架設されている。

日本に初めて電信が登場した頃、相手の「話がいつ通っていくのだろう」とか、「書いた手紙が針金を伝っていくのだ」と言って電線を何時までも見あげていたり、電線に風が当たり音がすると「魔法が今通っている」とか、相手方に話を通じるのだから「弁当も運んでくれるのだろう」と考え、弁当箱を電柱にぶら下げたが運んでくれない。「やはり金を払わないからだろうか」と感心したり、仕まいには、「電信線は未婚者の生き血を塗ってつくるものだ!」というので娘たちの歯を黒く染めたり、眉を剃りおとし既婚者のようにみせたという噂が、当時、まじめに本州地方で話されていたが、電信は誠に不思議な装置であった。

北海道は、それ程でなかったが開拓使は心配して「電信線に障害を及ぼすような不心得者は厳罰に処する。また心得違いをおこせぬよう厳重に取り締まりをせよ」と各村の戸長宛に通達している。

登別では明治41年(1908年)幌別郵便局で電報取扱を開始し、同局へ出かけて通話する電話事務取扱が1917年からであった。

あらがると

情

一日行政相談を行います

～秋の行政週間～

国や、特殊法人（公団、事業団、銀行、公庫）の業務、北海道や市の業務についての苦情や意見、要望をお持ちの方はお気軽にお越しください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

▼月日 10月15日(火)

▼時間 13時30分～15時

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼相談員 行政相談委員 石本重吉さん、山形貞子さん

▼問い合わせ 総務課

(☎1130)

模範となる青少年を

推せんください

登別市青少年問題協議会は、平成8年度登別市青少年表彰を行います。

郷土登別市の担い手としての豊かな心と実践力を持ち、他の模範となる青少年を推せんください。

▼表彰の種類及び対象

◎青少年善行表彰 市内に住む28歳未満の青少年で、その活動が

他の青少年の模範となる方

◎青少年団体活動者表彰

（個人）市内に住む28歳未満の青少年で、市内に組織されている青少年団体に3年以上所属し、現に活発な団体活動を行い、他の青少年の模範となる方

（団体）市内に組織されている青少年団体に5年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であって、他の模範となる団体

◎優良勤労青少年表彰 市内に住む28歳未満の勤労青少年で、日常生活に誠実さが認められ、職場においても勤労年数が3年以上でその職務に忠実、精励であつて職務技能の向上、研さんに努めるなど他の働く青少年の模範となる方

▼推せん者 市民または職場の長、団体の代表者など

▼推せん・選考方法 社会教育課にある所定の推せん書に記入して提出ください。推せんされた方の中から青少年問題協議会が表彰者を選考、決定します

▼推せん期日 10月21日(月)まで

▼提出・問い合わせ 社会教育課

(☎1100)

文化・スポーツ振興財団

からのお知らせ

◎健康スポーツ教室

▼月日 10月14日(月)～11月1日(金)

の毎週月・金曜日(計6回)

▼時間 18時30分～20時30分

▼場所 総合体育館

▼対象 市内に居住・通勤する成人

▼受講料 400円(傷害保険料)

▼内容 ストレッチ、ミニバレー、ラケットテニス

▼申し込み 10月9日(水)までに電話で総合体育館(☎5552)

※参加者は運動のしやすい服装で参加ください。

◎婦人水泳教室

▼日時 10月15日(火)～10月26日(土)

の日・月曜日を除く毎日

(計10回)13時～15時

▼場所 登別市民プール

▼対象 市内に居住・通勤する女性

▼受講料 400円(障害保険料)

▼持参するもの 水着・プールキャップ・バスタオル

▼申し込み 10月9日(水)までの13時から17時に(7日除く)電話で市民プール(☎5558)

のほりべつ伝統芸能まつり96

のほりべつ伝統芸能まつり実行委員会 共催

登別市指定無形民俗文化財をはじめ、日ごろから熱心に伝統芸能の実践活動に努める方たちの華麗な舞台をぜひご覧ください。

▼日時 10月13日(日) 12時30分開場、13時開演

▼会場 市民会館大ホール

▼出演 ○札幌神楽獅子舞保存会 ○札幌山獅子舞保存会 ○正派若柳流鳳寿会 ○登別三曲協会 ○登別民謡連合会(吉田兄弟ほか)

◎登別太鼓同好会

▼入場料 ◎大人：前売り1千円 当日1千200円

◎高校生以下：無料(入場整理券を持参してください)

▼前売り券：入場整理券取扱場所 市民会館、市役所内母子の会売店、鷺別・登別支所、アーニス、ブックアベニューいりえ

▼問い合わせ 社会教育課

(☎1100)

働く方々の最低賃金が

変わりました

事業場で働くすべての労働者(臨時、パート、アルバイトなどを含む)に適用される北海道の最低賃金額が、10月1日から改定されました。

最低賃金額

	改定前	改定後
日額	4,681円	4,780円
時間額	586円	598円

▼問い合わせ 室蘭労働基準監督署(☎236131)

全国地域安全運動のご案内

～みんなでつくりよう安心の街～

防犯協会連合会は、空き巣や自転車盗難など身近な犯罪の予防や

お年寄りの方の保護などを目的に、10月11日(金)から20日(日)までの期間中、「全国地域安全運動」を行います。

みなさんのご協力をお願いします。

▼問い合わせ 室蘭登別防犯協会連合会(☎230110)

北方型住宅地域セミナーを開きます

～胆振支庁・室蘭市・登別市共催～

▼テーマ 住む人に安全でやさしい住宅

▼日時・会場

月日	時間	種別	会場
10月11日(金)	14:00～16:00	講演会	室蘭市中小企業センター
	10:30～18:00	展示会	登別サテイ
	10:30～18:00	展示車公開	
10月12日(土)	10:30～17:00	展示会	登別サテイ
	10:30～13:00	展示車公開	

▼内容 講演会、福祉機器移動展示車公開、パネル展(北方型住宅、高齢化対応住宅など)、模型展、ビデオ放映

▼入場料 無料

▼問い合わせ 建築課

(☎4399)



## 秋サケどっと初水揚げ

9月6日、胆振太平洋の秋サケ定置網漁が解禁され、登別漁港にも7日、シーズン到来を告げる秋サケが初水揚げされた。

漁模様は初日としてはまずまず。「それ」と掛け声あわせて引き揚げる網もずっしりと手ごたえ十分で、大きめの魚体が銀リンを躍らせると、早朝の漁港は一気に活気づいた。

### 人のうごき

- 人口 57,258(+6)
- 世帯 22,888(±0)
- ( )は前月比

平成8年8月末日現在

## 室蘭市

となりまち

ホットライン



「室蘭さかなの港町同窓会」にぜひ、お越しを!

秋サケや朝イカなどの水産物をはじめ、農産品も豊富にありますので、ご家族でお越しください。

▼実施日 10月6日(日)

▼会場 追直漁港(舟見町)

▼内容

①さかなの港町展覧会(午前9時~午後2時)

漁港パネル展、イルカ鯨ウオッチングパネル展

②さかなの港町市場(午前10時~午後2時)

サケの棒引き(1回500円、先着順)、サケのつかみどり(1人500円、先着順)、千人なべ(1杯100円)、サケのさばき方教室など

▼詳細 室蘭漁業協同組合 (☎01436331)

## 伊達市

味覚の秋!ご家族でお越しください  
美味しい伊達へ



●第17回伊達農業まつり

新鮮な野菜や畜産物など豊富に取りそろえ、格安販売します。また、カラオケ大会、餅まきなども行います。

▼日時 10月6日(日)午前10時~午後3時

▼場所 だて歴史の杜カルチャーセンター駐車場(国道37号沿い)

▼詳細 JA伊達市(☎014222181)

●第7回伊達漁協秋さけまつり

さけや海産物など格安販売やさけのつかみ取りお楽しみ抽選会と内容盛り沢山。

▼日時 10月13日(日)午前10時~午後3時

▼場所 伊達漁協前広場(西浜町)

▼詳細 伊達漁業協同組合 (☎014222424)

